

# 銀漢亭日録



伊藤伊那男

9月29日(土)

▼七時半、荻窪駅。武田編集長の車に拾ってもらい、蓼科武田山荘へ。関越道を経由して佐久から入り、長門牧場にて昼食。コロッケうまい！ 前日から行っている花果さん他と合流。霧ヶ峰へ。快晴で全方位大パノラマの風景を楽しむ。あと「テラス蓼科」の湯。十七時過ぎから武田山荘にて銀漢編集部慰労会、十四人。バーベキュー、雑草煮、鯉のうま煮、鮎の煮付、塩イカ、煮イカなどなど。この日は名月。落葉松の梢越しに雲間の今日の月を仰ぎ、歓声上がる。あと五句出し句会。坪井家、村上家の別荘分宿。

9月30日(日)

▼八時、朝食。三句出句会。十時過、縄文のヴィーナスを見て、諏訪上社参拝。「小作」のほうとう鍋の昼食をこぞに東京へ。台風十七号接近中にて早目の帰京。十七時には帰宅。

10月1日(月)

▼発行所「かささぎ」勉強会。加藤楸邨と。終つて八人。店、小島健さん久々。

3日(水)

▼発行所「きさらぎ句会」終つて八人。ひまわり館にて「宙句会」終つて七人。店、真砂年、一平、麒麟、うさぎさんの「読む会」。事業部「年次総会・新年会」の打合せ。

4日(木)

▼発行所「十六夜句会」あと五人。「天為」の方々、弁当部の方々、山口優夢と西村麒麟さん。その他久々来店途切れず。

5日(金)

▼店「大倉句会」あと十人。「松の花」記念会あとの流れで青山丈、鳥居真理子さん他。卓田謙さん、妹さんと。皆川文弘さんから福島出身の指揮者小林研一郎の映画「天心の譜」の特別招待券届く。

6日(土)

▼つくばエクスプレスでオークラフロンティアホテルつくば。「麻俳句会」(主宰嶋田麻紀 創刊四十五周年祝賀会。二十年振り位にお会いする大会委員長の草野大作氏。私と小

7日(日)

中高一緒という十年先輩の島田楷人氏、大学先輩の松浦敬親氏などとお目に懸り嬉しい。岩佐鶴丈の平家琵琶の演奏印象深い。帰路。松茸沢山買う。

8日(月)

▼午前中、整体。十五時、桃子の家。杏一家も来て食事会。松茸焼、松茸のスキヤキ、茄子鴨焼、カラスミ大根、ジャンパ、ワイン……。一族十二人。

9日(火)

▼平成俳壇選句発送。十一月号校正終了。店、「火の会」八人。郷里の先輩、今井康之氏(岩波書店社友)より便りや文章載き、返信。郷里のこと色々思い出す。

10日(水)

▼発行所「梶の葉句会」。店、会員の徳永さんが伊那那北高校四年先輩の山下さんと。氏は郵政省高官であった。高遠出身で私の親戚と同町内であったことが判明！「未来図」守屋編集長。久々、国会議員のX氏。この前、離党して、テレビニュースに出ていた。前回渡した「銀漢」誌を三回読んだと。選挙区の某結社の創刊六十周年パーティーに出て、稲畑汀子、廣太郎さんと同席。銀漢亭のことを話したら、廣太郎さんが「行つた行つた！」と言っていたと。十月号を買って行ってくれる！ 二十二時半、閉めて角の餃子屋。いづみ、展枝、恵子。菊田島椿さん(二平さんの父上)より気仙沼の秋刀魚到来。脂の乗った一級品。刺身うまし！

11日(木)

▼「りの」誌の山崎祐子さんの編集後記をみると今年はうるう三月があったので季節にズレがあると。去年の中秋の名月は九月十二日、今年は九月三十日。十八日間のズレと。店、酒間屋のモトハラ社長、サントリーの担当八木さんなど。

13日(土)

▼十時、運営委員会。来年の編集方針。投句者増強の件など。十三時、麹町会館にて本部句会、五十人。あと、「さくら

14日(日)

水産にて親睦会。  
▼十二月号から、新企画で私の第一句集「銀漢」を分割掲載したいというので二回ずつエッセイを付すことにして、一回目書いてみる。週末の疲れあり、高井戸温泉「美しの湯」にて半日くつろぐ。先日、桃子にフォトビューという画像の動く小さなテレビのようなものを持たされる。子供達の写真が送られてくるのだが、朝、日めくりが出るので、それをめくると桃子と否の携帯電話に伝達され、私が生きていることが確認できるというもの。

15日(月)

▼皆川丈人さん、盤水先生の第一句集「積荷」届けてくれる。店、「街」主宰 今井聖、竹内編集長。広渡敬雄さん、九州大学同期六人で。……客少なし。二十二時、閉めて凌雲、展枝、いづみさんと餃子屋、一時間ほど。

16日(火)

▼義弟の五日市さんの会社の役員、細川さんの夫人が「対岸」の有力同人細川恵子さん……ということと三人で来てくれる。こしだまほさん、会社仲間と五人で。

17日(水)

▼「三水会」七人。発行所「はてな」句会、終つて、坊城俊樹、今井肖子、阪西敦子さんなど店へ五人。肖子さんの祖母が今井つる女なのだが、つる女は虚子の姪にて坊城さん、肖子さんはまたいとこのいこ？ 久々、酒飲まずの一日。帰宅して血圧測ると、上血二百二十台、下血八十台。

18日(木)

▼血圧百二十八〜八十二！ 何と、一日酒控えただけで。店、橋本有史さんの「句」句会六人。「銀漢句会」終つて十八人店。

19日(金)

▼発行所「野村句会」、終つて五人店。七時から、オリックス時代の部下八人。かれこれ三十年近く前のことながら今だに私を思い出してくれる。思い切り仕事をして、オリックス最大の課、二十七人の部下を持つ花形課長であったのだ。この私……。

20日(土)

▼「總句会」兼題七句プラス、今日は隣の三井記念美術館の

22日(月)

「近江路の神と仏名宝展」を見て、三句という題。十三人。兼題に紅葉鮒があつたこともあり、近江オサナレド。あと鮎の粕汁、里芋の田楽、鰻の唐揚げ、握り鮓。酒は出羽桜吟醸泉十段。あと一人渋谷の「ふくちゃん」。鮮の薄作り、蝦夷海鞘で浅酌。古市枯草さんより今年も秋刀魚沢山到来。

24日(水)

▼本日、「三田連合会」。幹事年でゼミを挙げての協力だったのだが、俳句と仕事で忙しく何も協力できず、券も売らず。負目あり、風邪気味を理由に(自分に対し)欠席す。寝たり起きたり選句したり……。

26日(金)

▼店、池田のりをさん、あと閑散……というところへ対馬康子さん誕生祝とて十人程来てくれてシャンパンで乾杯。そこへ小川洋さん来て巨人リーグ優勝！と更にシャンパン二本。

27日(土)

▼彗星集選句、これで十二月号の選は終了。あとは原稿書きへ。「雲の峰」総会の選句。

29日(月)

▼家政婦の安藤さん掃除に入る。大学時代の美人の先輩より「文藝春秋」十月号の私の俳句見た！と電話あり。その他、思わぬ人から「文春」見た……と。嬉しいこと。発行所、「金星句会」終つて六人。居酒屋放浪記の吉田類さんの本を見て岡山山的女性二人。「月の匣」水内主宰、水香編集長。高濱年尾忌帰りの「ホトトギス」肖子、敦子、文子さんなど。

29日(月)

▼九時半、東京駅集合。「春耕佐原鹿島吟行会」。八十名、バス一台で出発。佐原の街を散策し、香取神宮、北浦のかんぼの宿。三句出し句会。朝妻力さんと同室。二十八日は、朝、三句出し句会、鹿島神宮、根本寺、霞ヶ浦の皆川盤水先生の句碑を巡り、十七時、東京駅に戻る。駅のニューヨークにて二十名程で打上げ。

31日(土)

▼伊那の井月カレンダーに一句鑑賞文送る。「銀漢」のラセイ、同人評など。店、「湯島句会」出句百六人。店に集つたのは三十一人。